



No.145

発行日：2025年8月15日

# 神奈川ネット 市政報告



市議 布瀬めぐみ



市議 吉田なな

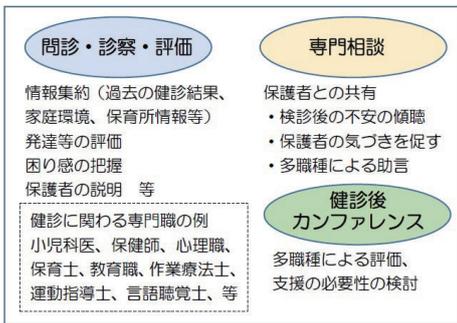
## 5歳児健診の導入を

### 6月の一般質問より

5歳になると社会性が身についてくるとされています。5歳児健診によって就学前に保護者が子どもの発達の特徴を理解し、早期に支援に繋がる体制を市は早急に作るべきです。

大和市議 布瀬めぐみ

健診の方法は、それぞれの自治体に合った方法がとられています。実施している自治体では、「相談したいことがある」と答えた保護者は約4割となっています。幼児なりの社会を持ち始めた我が子に



### 5歳児健診の方法と必要性

就学の約一年前に行われる5歳児健診は、身体的な発達に加え、見え方や聞こえ方のチェック、同世代とルール遊びができるか、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを汲み取ったりすることができているか等を確認します。その為、個別健診ではなく、集団で行うことが推奨されています。

どこまで介入するのか、本人に任せていくのか判断に迷うような相談は、5歳児ならではのものです。子育ての悩みが子ども自身の特性によるものが大きい場合は、福祉や医療機関、心理発達相談へ繋ぐことで保護者が子どもの特性を理解し、悩みが軽減していく場合もあります。

### 実施に向けた市の考えとは

子ども家庭庁は、2028年度までに全国の自治体での実施を目指して、健診費用の補助額を引き上げ、支援の強化を図っています。

布瀬めぐみの一般質問はホームページでもご覧いただけます。こちらのQRコードからお入りください。

\*6月議会では、他に「職場環境の改善に向けた公益通報制度について」と子どもの参画について「質問しました。」

している。しかし、医師の確保や専門職スタッフの増員は厳しく、実施は困難。保育所や幼稚園などと密な連絡のもと、5歳前後の児童を対象とした発達支援につながる取組を模索していく」と答弁しました。

### 子どもの請願がトドメになる!

布瀬めぐみ

6月議会に、市内の小学生から「子どもミーティングのあり方の改善を求める請願書」が提出されました。請願者は昨年の子どもミーティングに参加し、複数の参加者からの意見もまとめた上で、子どもに対する意見聴取の在り方に対し市へ具体的に改善点を挙げて検討を求めました。

しかしこの請願書は、ネット議員の所属していない総務常任委員会で審査され「トドメ」となりました。トドメとは、これ以上この請願書に対する審査は行わないということです。「必要性は感じているが、子どもミーティングは昨年単発で行われた事業であるため」がその理由だそうです。委員会の対応は不誠実と言わざるをえません。

全ての子どもの年齢や発達に応じて意見を尊重し、子ども・若者の意見を反映することは「子ども基本法」で国や地方自治体に義務付けられています。

行政だけでなく、議会においても子どもの参画を実現し、他市で行われている子ども会議などを参考に子どもの意見聴取の場を設ける具体的な取り組みが進むよう活動していきます。



6月議会に提出された  
**子どもの請願書**  
←QRコード

※4～5ページ目をご覧ください

次号  
まちづくりレポート  
11月発行

おしゃべりサロン (議会報告会) のお知らせ

議会や市政の報告をし皆さんからお話を伺う場です。今回は主に「放課後児童クラブ」「多世代の居場所」について話し合う予定です。お気軽にご参加ください。(直接会場にお越し下さい)

時間はすべて10:00～12:00 出入り自由です。

9月29日(月) 大和市民会議事務所 上草柳8-15-5(布瀬)	10月 8日(水) ポラリス room2(吉田)
9月30日(火) 桜ヶ丘学習センター202(布瀬)	10月 14日(火) 中央林間2丁目 石川宅(布瀬) 070-5572-5188
10月 1日(水) つきみ野学習センター303(吉田)	10月 21日(火) みんなのスペースわにわに(布瀬) 大和市桜森3-4-13桜森スクエアⅢ1階